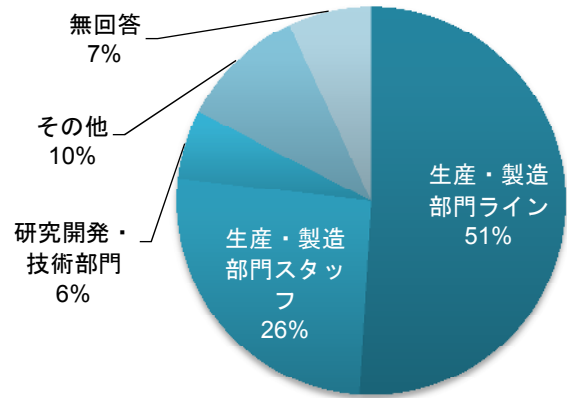


## 2. 受検者の特性

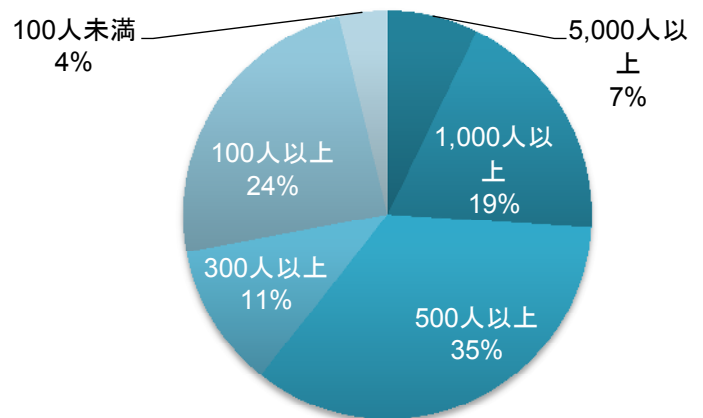
### ●職種別の内訳

第8回受検者の**半数以上は生産・製造部門のライン職**が占めました。生産マイスター検定は「ものづくり中核人材の育成」を目的として立ち上げた事業ですが、お客様には狙いどおりの活用をいただいているようです。またグラフからは**スタッフ職や研究職・技術職の方が全体の3割程度を占めている**点もわかり、全社的な取り組みとして活用いただく企業も多いようです。



### ●企業規模別の内訳

右のグラフは、受検者が所属する企業の規模を従業員数基準で分けたものです。このように、**従業員1,000人以上の大企業から100人以上の中堅企業までほぼ万遍なく採用されている**ことがわかります。



### ●業種別の内訳

受検者の所属業種をみると、製造業で働く人が大半を占める傾向は継続しています。下の棒グラフは業種別の内訳を示すものですが、第8回は**自動車や列車、航空機産業などの輸送用機械器具製造業が最多**になりました。一方、前回との大きな違いは**電子部品・デバイス・電子回路製造業で働く受検者が増えた**ことです。これはスマートフォンなど向けのタッチパネル製造事業所などからの導入が増えたことが背景となっています。

